

公開講座

リンゴを科学する

日時：令和2年12月6日（日）
時間：10：20～16：25
場所：青森市中世の館大ホール
青森市浪岡大字浪岡字岡田43

参加費無料
来聴大歓迎



あおもり県民カレッジ認定講座
青森学術文化振興財団助成事業
後援：弘前市 平川市 藤崎町
板柳町

第1講演 10：30 - 11：30
リンゴ園の生態系
ムラノ千恵氏（弘前大学）

第2講演 11：45 - 12：45
農薬を減らしてリンゴをつくる
- 藤崎農場での特別栽培試験
伊藤大雄氏（弘前大学）

第3講演 14：00 - 15：00
**着果・着色管理における植調剤
の効果的な利用方法**
岩波宏氏（農研機構）

第4講演 15：15 - 16：15
**リンゴのウイルス・ウィロイド
及びウイルス様病害**
佐野輝男氏（弘前大学）

事前のお申し込み・お問い合わせは
弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センター
TEL 0172-75-3026 FAX 0172-75-5646

座席は十分ありますが、会場定員の半分（198名）で締め切ります。
当日参加も可能ですが、事前に申し込まれた方を優先します。
新型コロナウイルスの感染拡大状況により、やむを得ず中止することがあります。
当日はマスクの着用をお願いします。

【プログラム】

9:45	受け付け開始		
10:20-10:30	開会式	挨拶：当センター長	前田智雄
10:30-11:30	第1講演	(講演50分 質問10分)	ムラノ千恵氏
11:30-11:45	休憩		
11:45-12:45	第2講演	(講演50分 質問10分)	伊藤大雄
12:45-14:00	昼食休憩		
14:00-15:00	第3講演	(講演50分 質問10分)	岩波 宏氏
15:00-15:15	休憩		
15:15-16:15	第4講演	(講演50分 質問10分)	佐野輝男氏
16:15-16:25	閉会式	挨拶：当センター藤崎農場主事	伊藤大雄

【講師と講演内容】

○ 第1講演 りんご園の生態系

ムラノ千恵 氏 (弘前大学農学生命科学部 機関研究員)

りんご園は、リンゴを生産する場です。しかしそれと同時に、様々な野生動物が生息し、日夜食う・食われるのドラマが繰り広げられる場でもあります。ハタネズミやフクロウなど、りんご園に馴染み深い野生動物の生態を通して、農業を支えてくれている地域の生態系を覗いてみましょう。

○ 第2講演 農薬を減らしてリンゴをつくるー藤崎農場での特別栽培試験

伊藤 大雄 氏 (弘前大学農学生命科学部 教授)

米国、特にワシントン州ではリンゴの有機栽培が広がってきました。日本でも消費者の省農薬への期待は大きく、地域ぐるみでりんご園の農薬半減(特別栽培)に取り組む事例が見られます。本講演では、リンゴ栽培で農薬を減らすためのポイント、そして藤崎農場におけるリンゴ特別栽培の試験成績についてお話しします。

○ 第3講演 着果・着色管理おける植調剤の効果的な利用方法

岩波 宏 氏 (農研機構果樹茶業研究部門りんご研究領域 栽培生理ユニット長)

摘花剤、摘果剤、摘葉剤に関するこれまでの試験成績を紹介するとともに、作用のメカニズムと効果の発現時期から、これら薬剤を使う場合の注意点や効果的な利用方法を提案します。

○ 第4講演 リンゴのウイルス・ウイロイド及びウイルス様病害

佐野 輝男 氏 (弘前大学農学生命科学部 教授)

リンゴのウイルス、ウイルス様病害には、モザイク病(ウイルス; ApMV)、高接病(ウイルス; ACLSV、ASGV、ASPV)、さび果・斑入り果病(ウイロイド; ASSVd)、ゆず果病(ウイロイド; AFCVd)、くぼみ果病(ウイロイド; ADFVd)などがあります。現在、深刻な被害を生じるウイルス性病害の発生はありませんが、潜在的な危険性には今後も注意しなければなりません。

【ポスター等の展示】

会場廊下において5点前後の展示を行う。